

3 愛媛県のイメージ

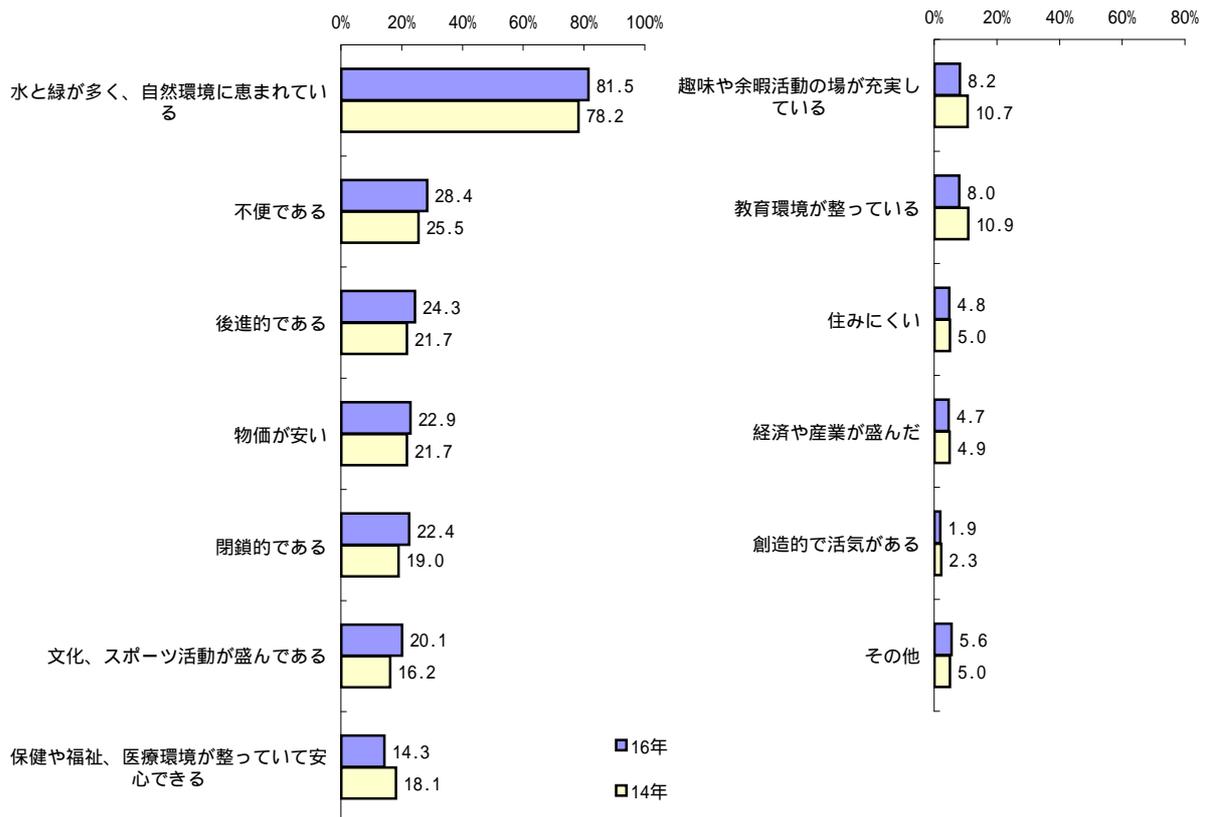
問22 現在の愛媛県のイメージ

あなたの考える愛媛県はどんなところですか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	81.5
2	物価が安い	22.9
3	経済や産業が盛んである	4.7
4	教育環境が整っている	8.0
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	14.3
6	趣味や余暇活動の場が充実している	8.2
7	文化、スポーツ活動が盛んである	20.1
8	創造的で活気がある	1.9
9	後進的である	24.3
10	住みにくい	4.8
11	閉鎖的である	22.4
12	不便である	28.4
13	その他	5.6

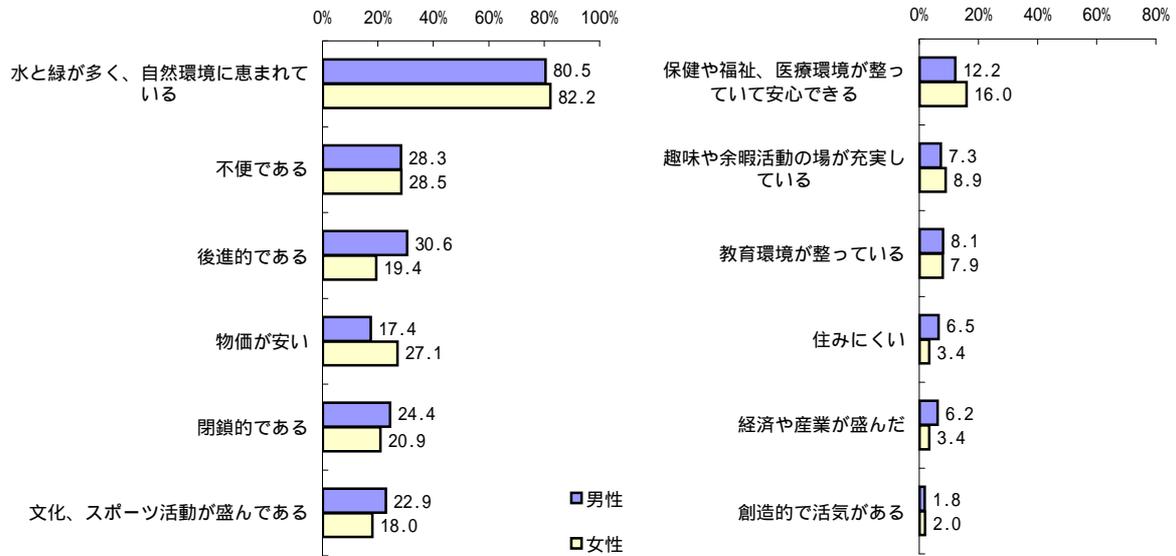
愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が81.5%と特に高く、以下「不便である」(28.4%)、「後進的である」(24.3%)、「物価が安い」(22.9%)、「閉鎖的である」(22.4%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(20.1%)などの順となっている。



【性別】

性別にみると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、男性（80.5%）、女性（82.2%）ともに特に高くなっている。

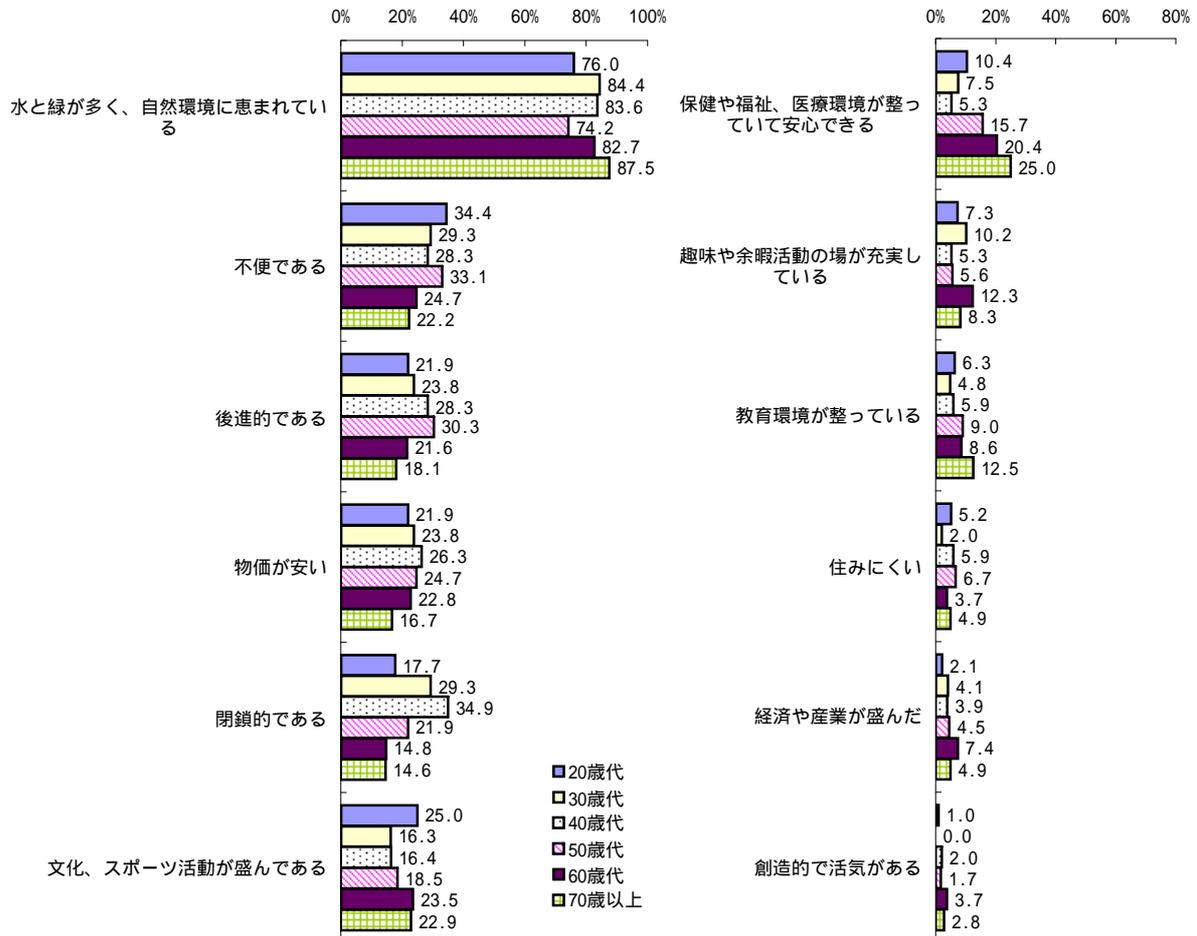
また、「後進的である」、「閉鎖的である」と答えた人の割合は男性で、「物価が安い」、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合は女性で高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に高い。

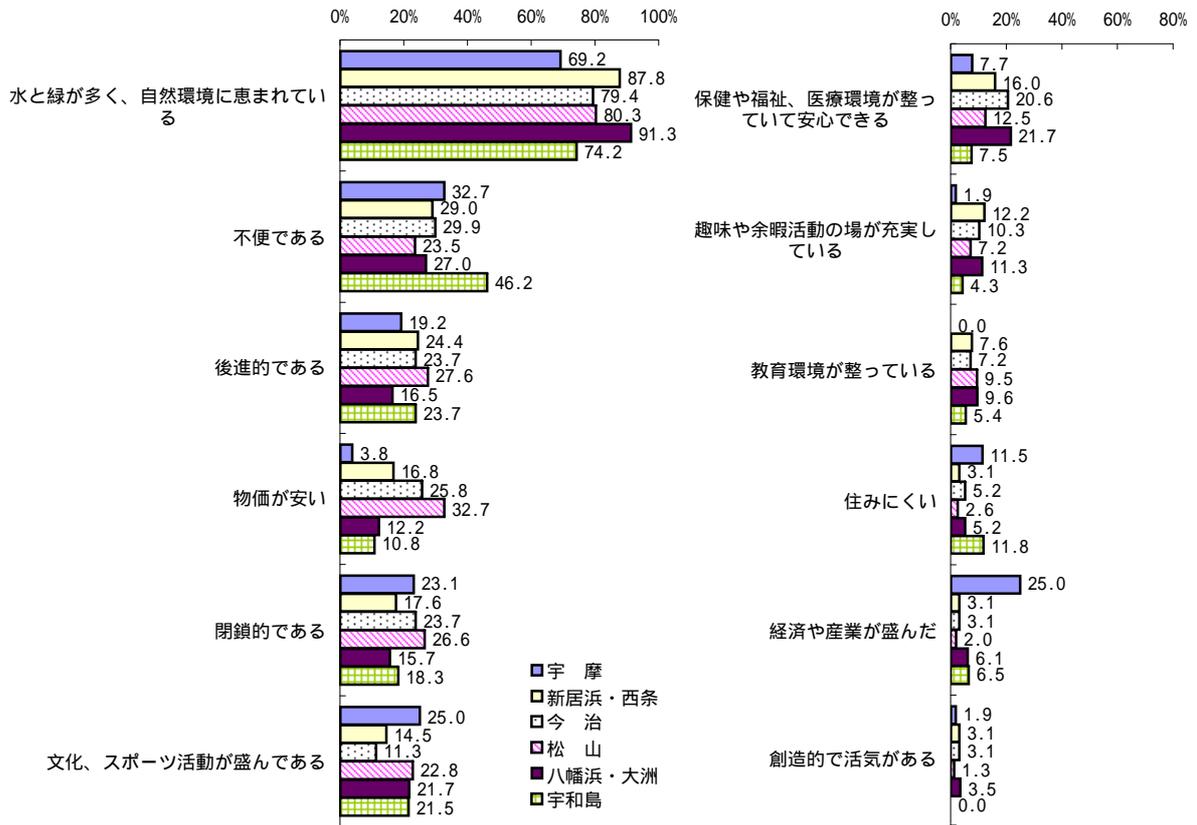
また、「不便である」と答えた人の割合は20歳代で、「後進的である」と答えた人の割合は50歳代で、「閉鎖的である」は40歳代で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は70歳以上で、他の年齢層に比べて高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、いずれの生活圏域においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に高くなっている。

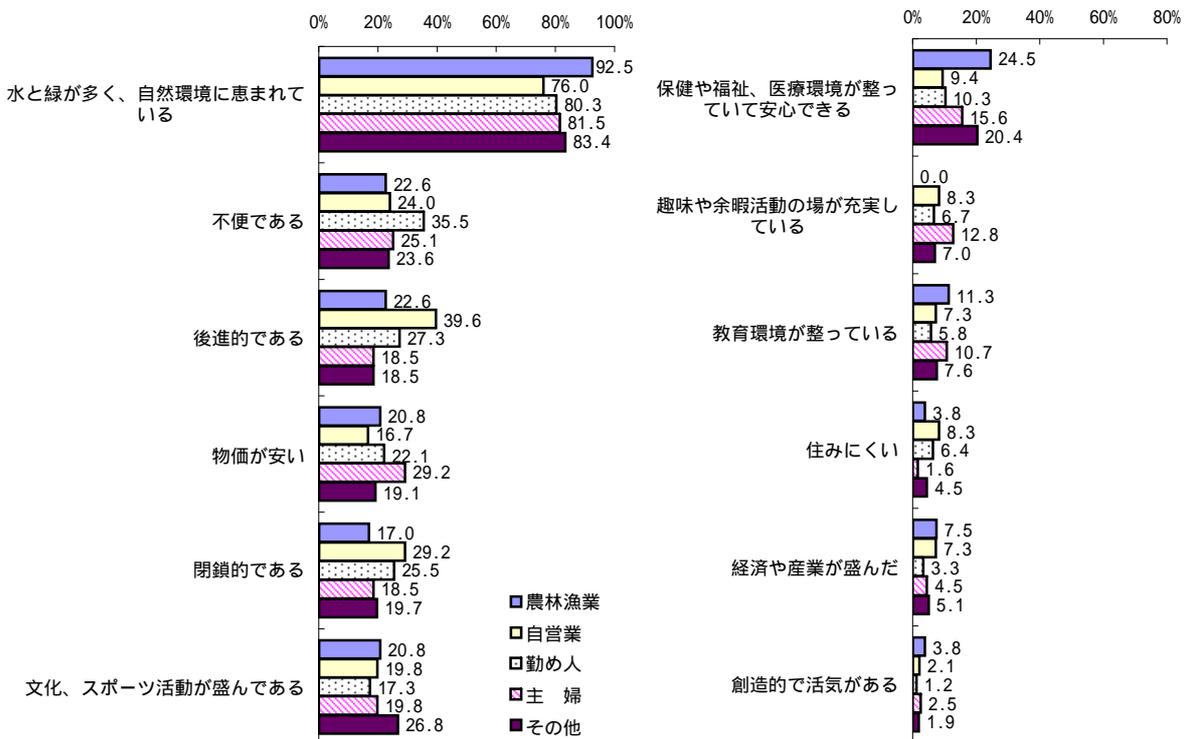
また、「不便である」は宇和島圏域で、「物価が安い」は松山圏域で、「経済や産業が盛んである」は宇摩圏域で特に高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、いずれの職業においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に高くなっている。

また、「不便である」と答えた人の割合は勤め人で、「後進的である」、「閉鎖的である」は自営業で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」は農林漁業で高くなっている。



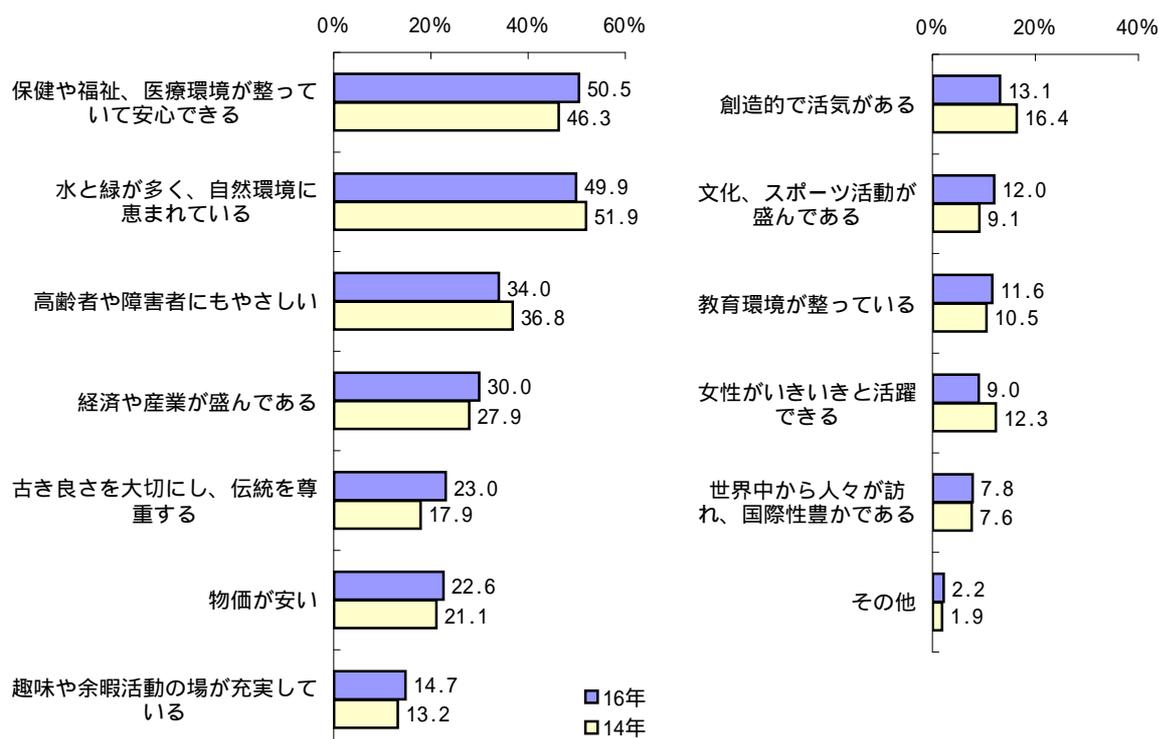
問23 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	49.9
2	物価が安い	22.6
3	経済や産業が盛んである	30.0
4	教育環境が整っている	11.6
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	50.5
6	趣味や余暇活動の場が充実している	14.7
7	文化、スポーツ活動が盛んである	12.0
8	創造的で活気がある	13.1
9	古き良さを大切に、伝統を尊重する	23.0
10	世界中から人々が訪れ、国際性豊かである	7.8
11	高齢者や障害者にもやさしい	34.0
12	女性がいきいきと活躍できる	9.0
13	その他	2.2

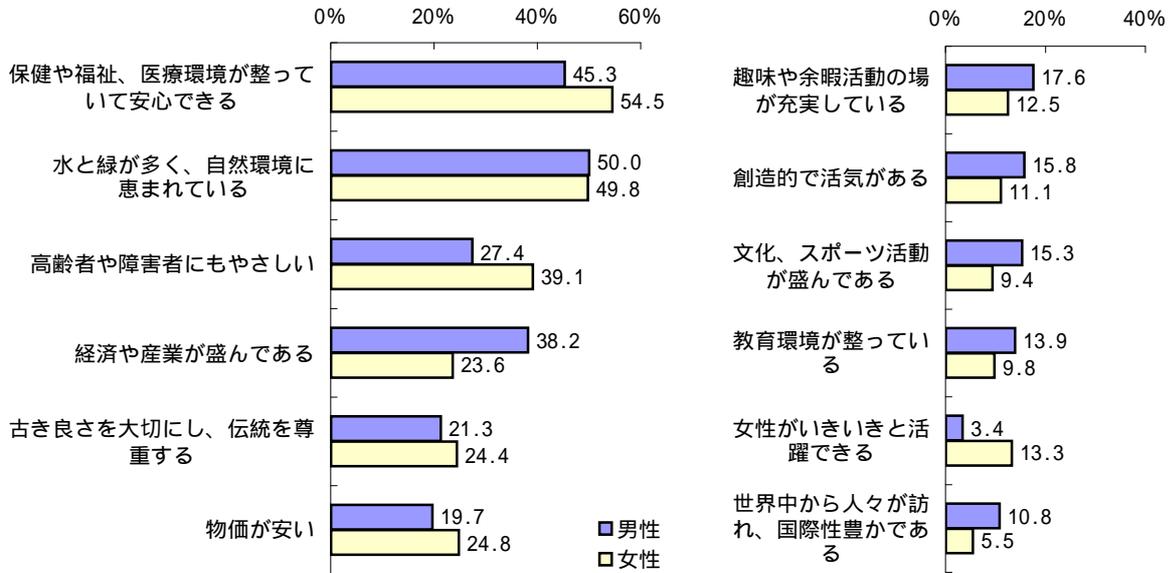
愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」(50.5%)と答えた人の割合が最も高く、以下「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」(49.9%)、「高齢者や障害者にもやさしい」(34.0%)などの順となっており、美しい自然に囲まれ、快適で、福祉の充実した住みよい愛媛をイメージしている人が多いことがうかがえる。



【性別】

性別にみると、男性では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、女性は「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が最も高くなっている。

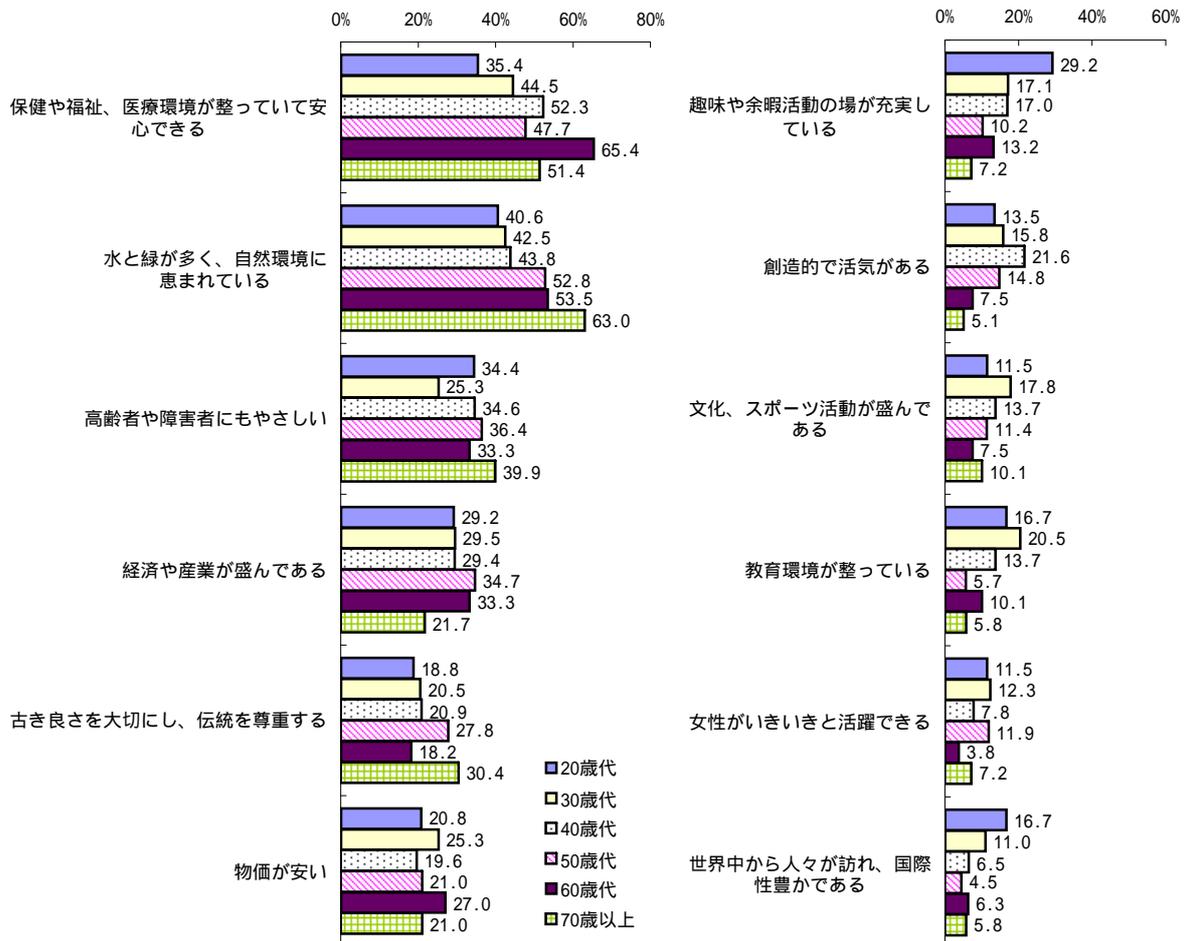
また、「経済や産業が盛んである」と答えた人の割合は男性の方が、「高齢者や障害者にもやさしい」、「女性がいきいきと活躍できる」と答えた人の割合は、女性の方が高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、50歳代、70歳以上では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、30歳代、40歳代、60歳代では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が最も高くなっている。

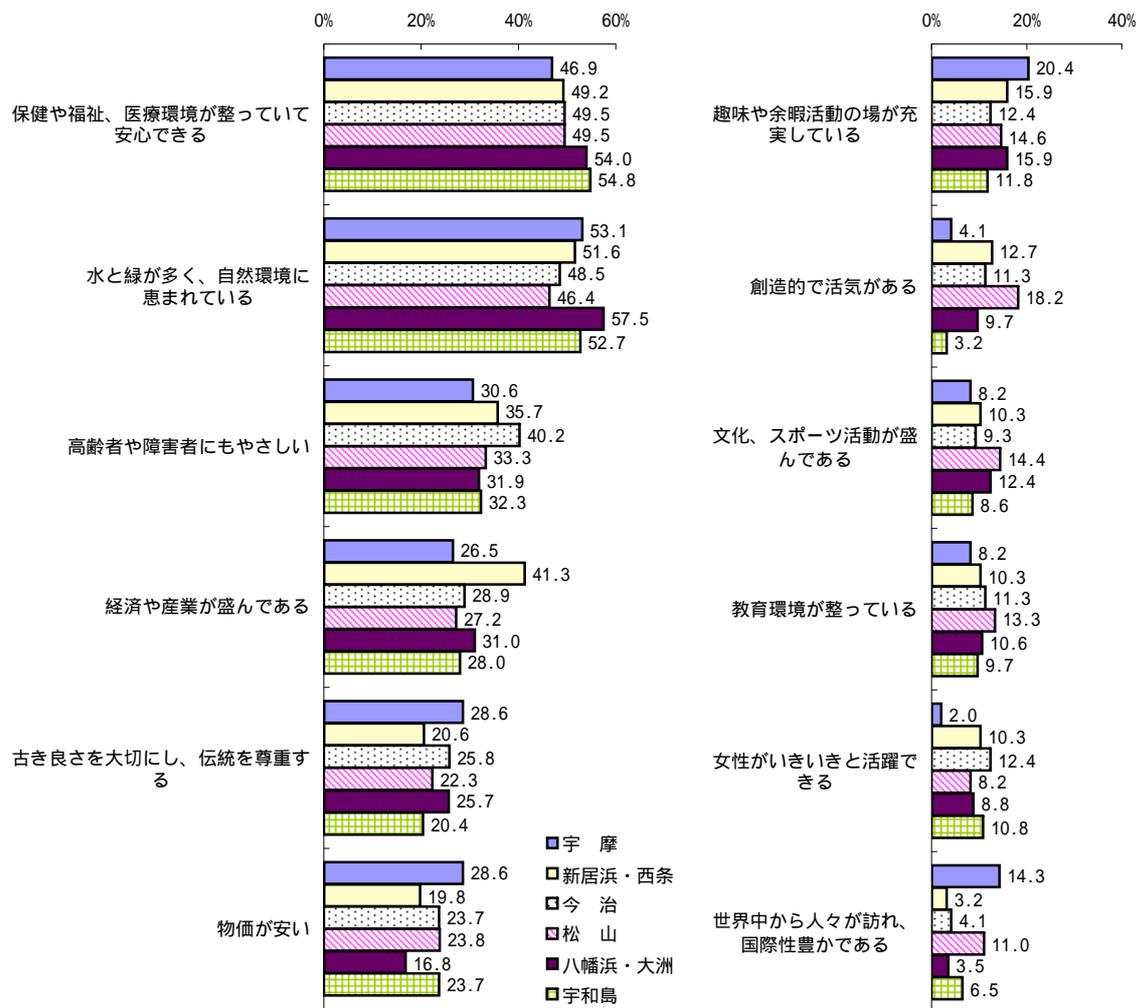
また、「趣味や余暇活動の場が充実している」は20歳代で、「教育環境が整っている」は30歳代以下で他の年齢層に比較して高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、今治圏域、松山圏域、宇和島圏域では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、宇摩圏域、新居浜・西条圏域、八幡浜・大洲圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も高くなっている。

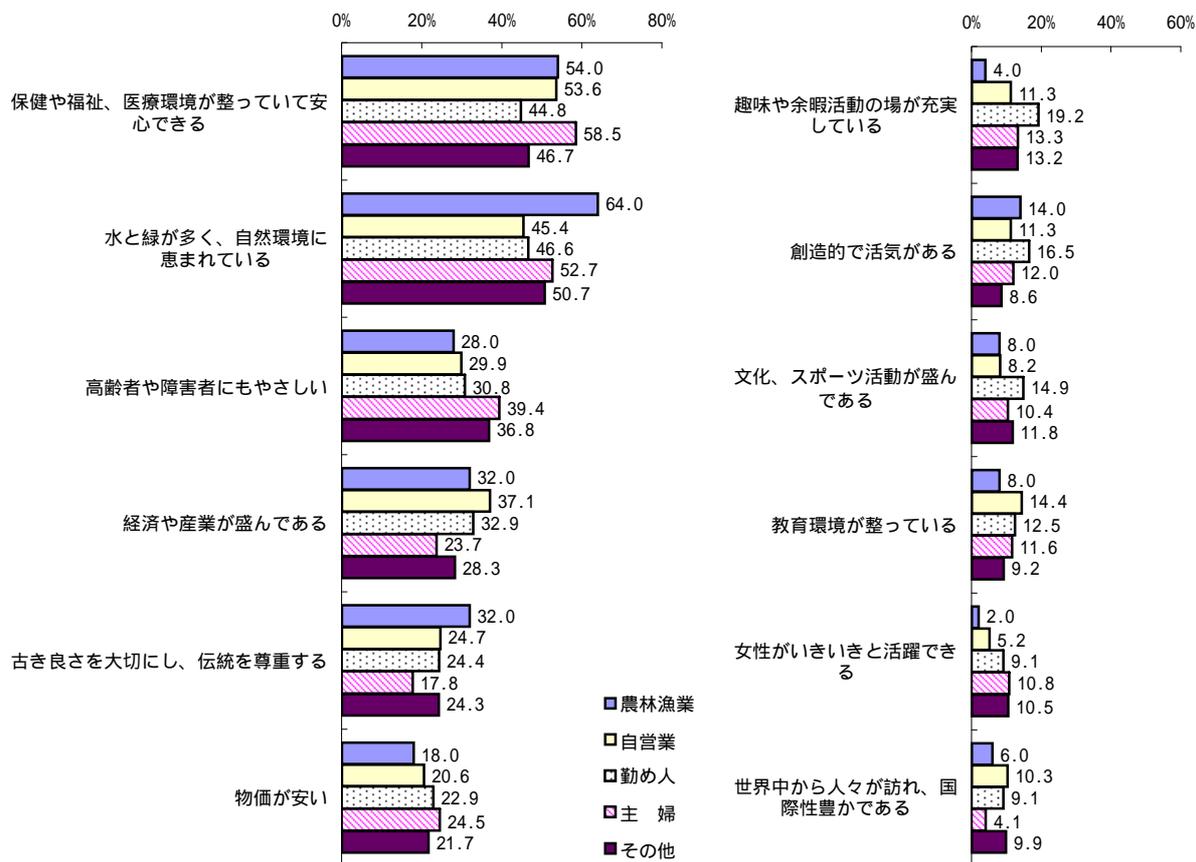
また、「経済や産業が盛んである」は新居浜・西条圏域で、「趣味や余暇活動の場が充実している」は宇摩圏域で、他の圏域に比べて高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、自営業、主婦では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、農林漁業、勤め人、その他では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が最も高くなっている。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」は主婦で、「経済や産業が盛んである」は自営業で、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は農林漁業で、「趣味や余暇活動の場が充実している」は勤め人で、他の職業と比較して高くなっている。



4 県政への要望

問24 県政への要望

今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から一つずつ選んで番号を で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

1	農林業の振興	13.1
2	水産業の振興	1.7
3	商工業の振興	7.4
4	中小企業対策	16.3
5	観光開発	12.6
6	雇用対策	35.1
7	道路整備	13.8

(B) 生活環境

1	社会福祉の充実	29.7
2	医療、保健衛生機能の拡充	19.7
3	物価・消費者保護対策	23.2
4	公害防止対策、自然環境の保全	10.7
5	上・下水道、ゴミ処理施設の整備	9.0
6	交通安全対策	5.8
7	消防、防災対策	2.0

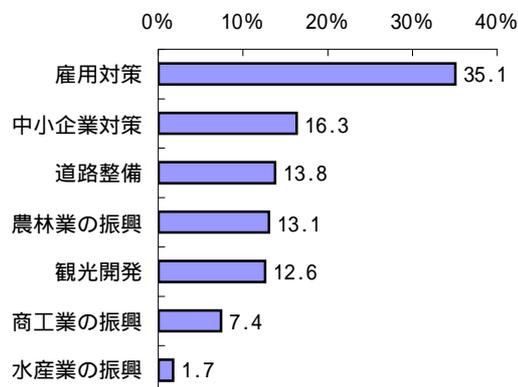
(C) 教 育

1	学校教育の充実	34.1
2	家庭教育の充実	16.0
3	社会教育の充実	28.3
4	芸術、文化の振興	9.5
5	スポーツ、レクリエーション活動の助長	12.1

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

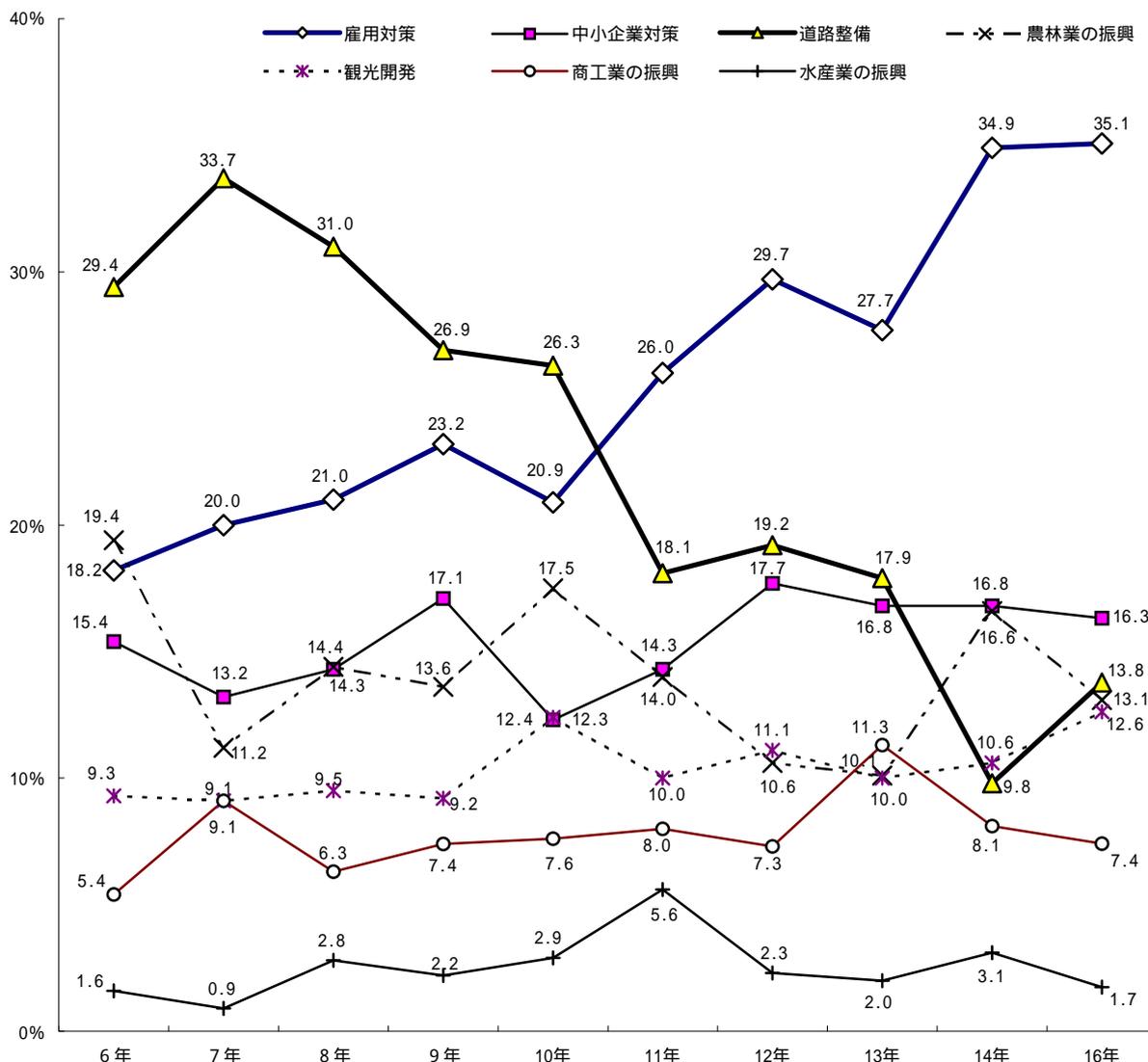
《産業面》

産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が35.1%と特に高く、以下「中小企業対策」(16.3%)、「道路整備」(13.8%)、「農林業の振興」(13.1%)などの順となっている。



【経年変化】

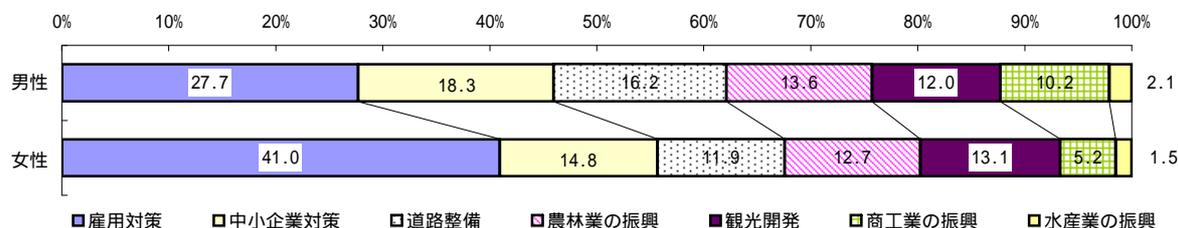
経年変化をみると、前回調査と比較して、「道路整備」と答えた人の割合は4.0ポイント、「観光開発」は2.0ポイント増加しており、「農林業の振興」は3.5ポイント減少している。
 なお、「道路整備」と答えた人の割合は、前回調査の第5位から第3位へ上昇している。



【性別】

性別にみると、「雇用対策」と答えた人の割合が男性（27.7%）、女性（41.0%）と最も高くなっているが、女性の方が13.3ポイント多くなっている。

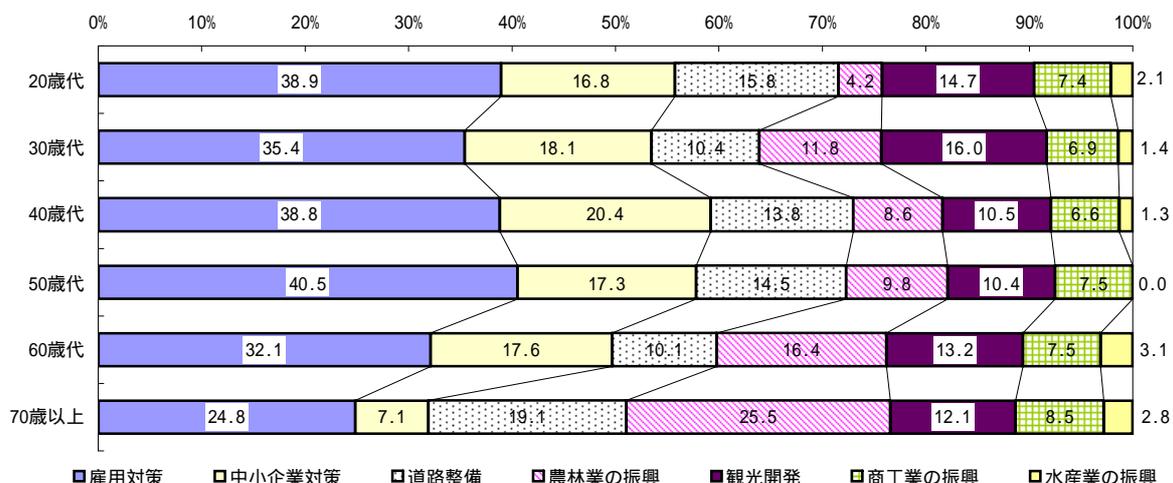
また、「中小企業対策」（3.5ポイント）、「道路整備」（4.3ポイント）、「商工業の振興」（5.0ポイント）と答えた人の割合は、それぞれ男性の方が高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上では「農林業の振興」が、その他の年齢層では「雇用対策」と答えた人の割合が、最も高くなっている。

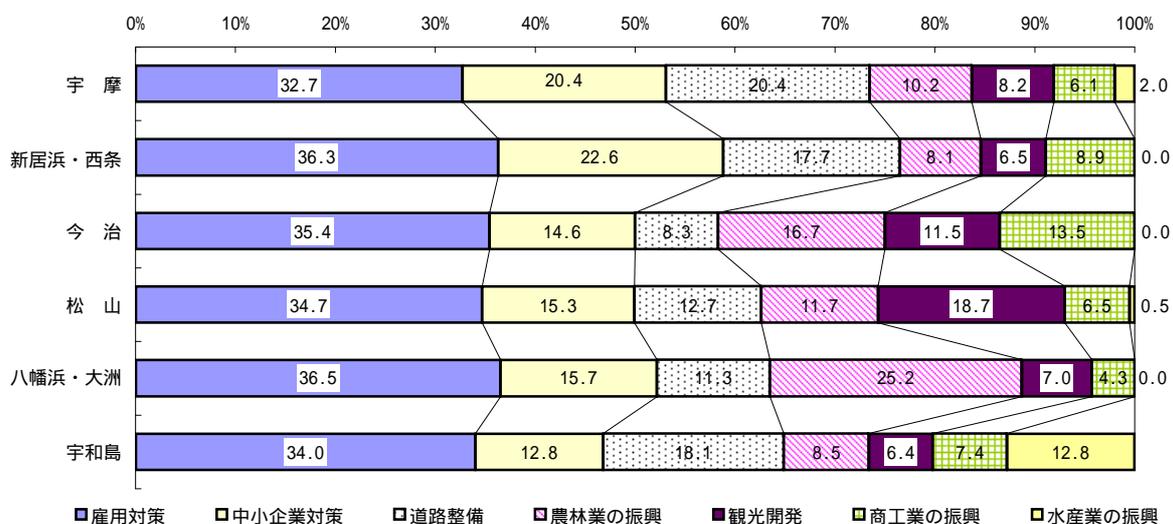
また、「中小企業対策」と答えた人の割合は40歳代で、「農林業の振興」は70歳以上で、「観光開発」は30歳代以下で、他の年齢層と比較して高くなっている。



【生活圏域別】

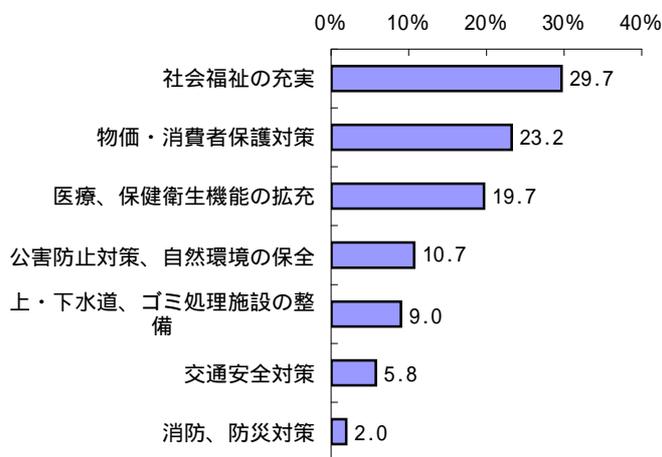
生活圏域別にみると、「雇用対策」と答えた人の割合は全ての圏域で最も高くなっている。

また、「中小企業対策」は宇摩・新居浜・西条圏域で、「農林業の振興」は八幡浜・大洲圏域で、「観光開発」は松山圏域で、「商工業の振興」は今治圏域で、他の生活圏域と比較して高くなっている。



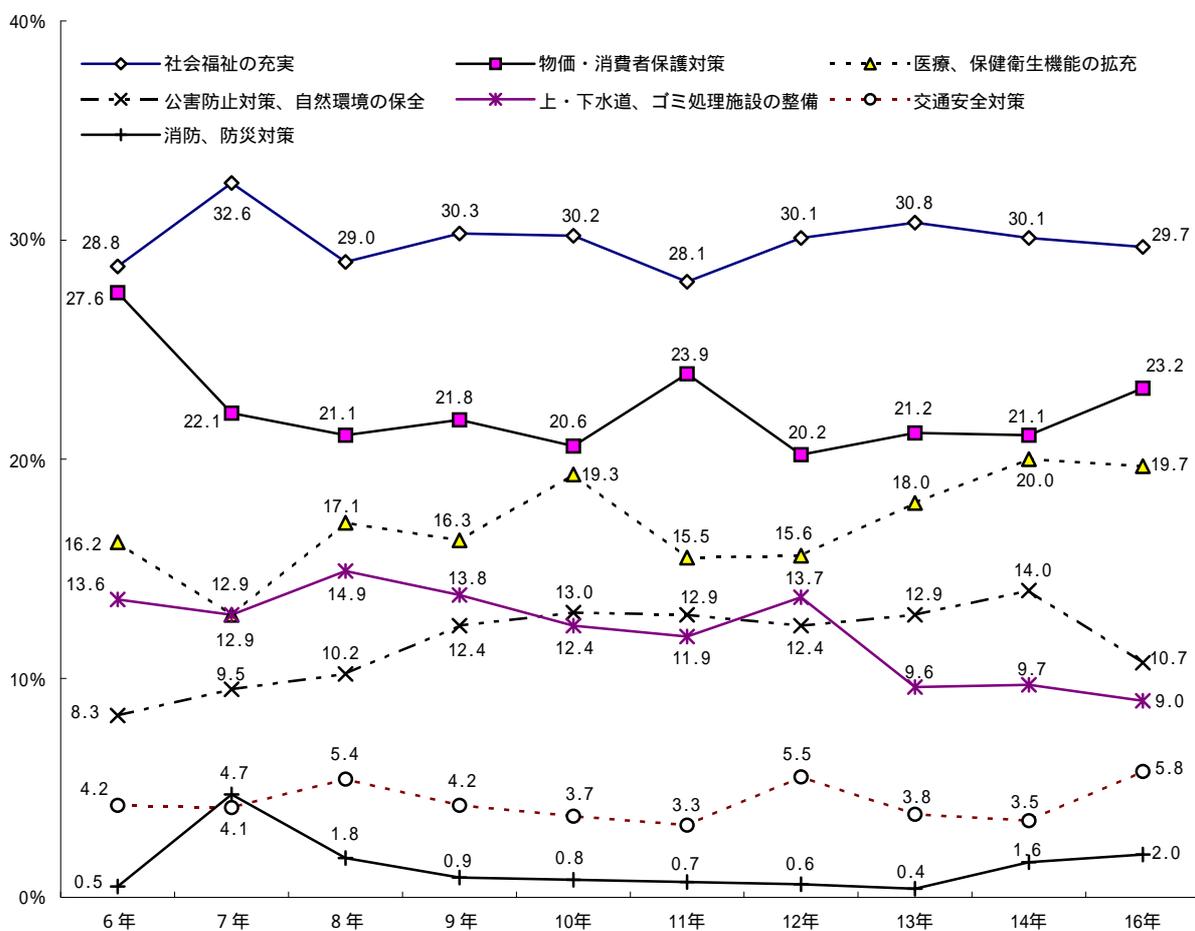
《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「社会福祉の充実」と答えた人の割合が29.7%と最も高く、以下「物価・消費者保護対策」(23.2%)、「医療、保健衛生機能の拡充」(19.7%)、「公害防止対策、自然環境の保全」(10.7%)、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」(9.0%)、「交通安全対策」(5.8%)、「消防、防災対策」(2.0%)などの順となっている。



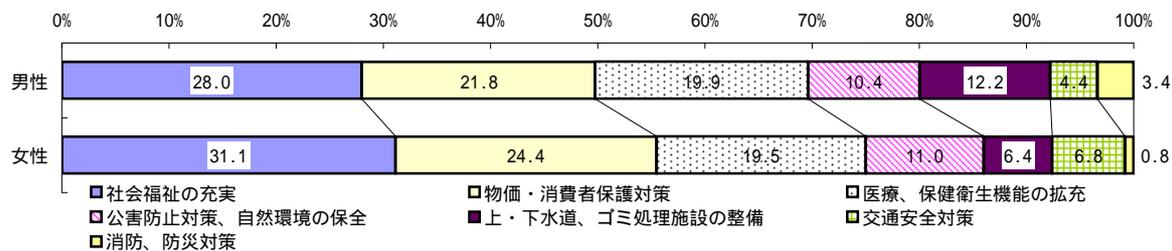
【経年変化】

経年変化をみると、前回調査と比較して「物価・消費者保護対策」と答えた人の割合は2.1ポイント、「交通安全対策」は2.3ポイント増加し、「公害防止対策、自然環境の保全」は3.3ポイント減少している。



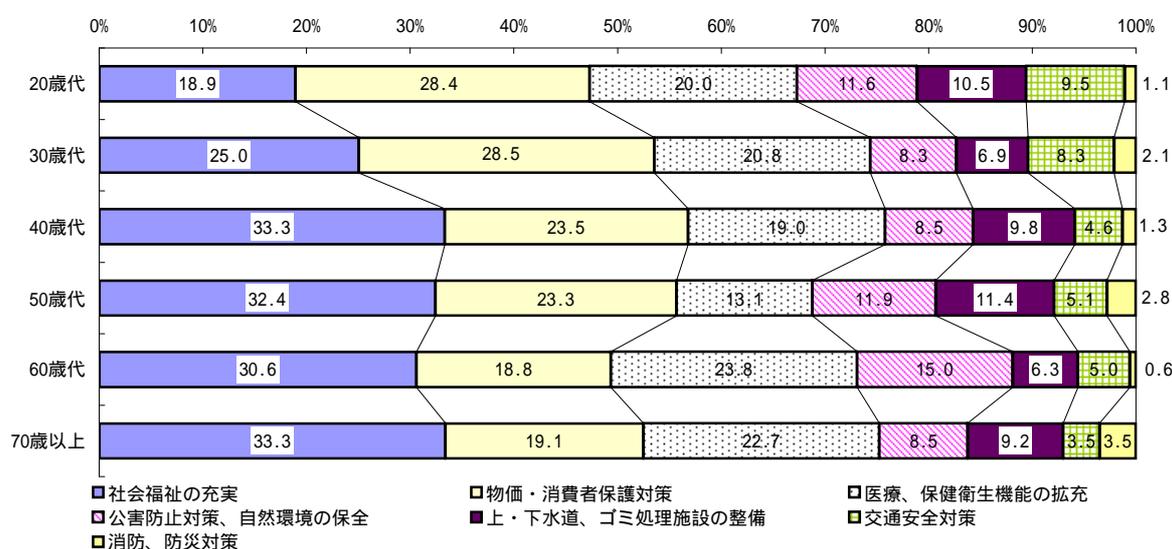
【性別】

性別にみると、「社会福祉の充実」と答えた人の割合が男性（28.0%）、女性（31.1%）ともに最も高い。「社会福祉の充実」、「物価・消費者保護対策」と答えた人の割合は女性が男性より高く、また、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」は男性の方が女性より5.8ポイント高くなっている。



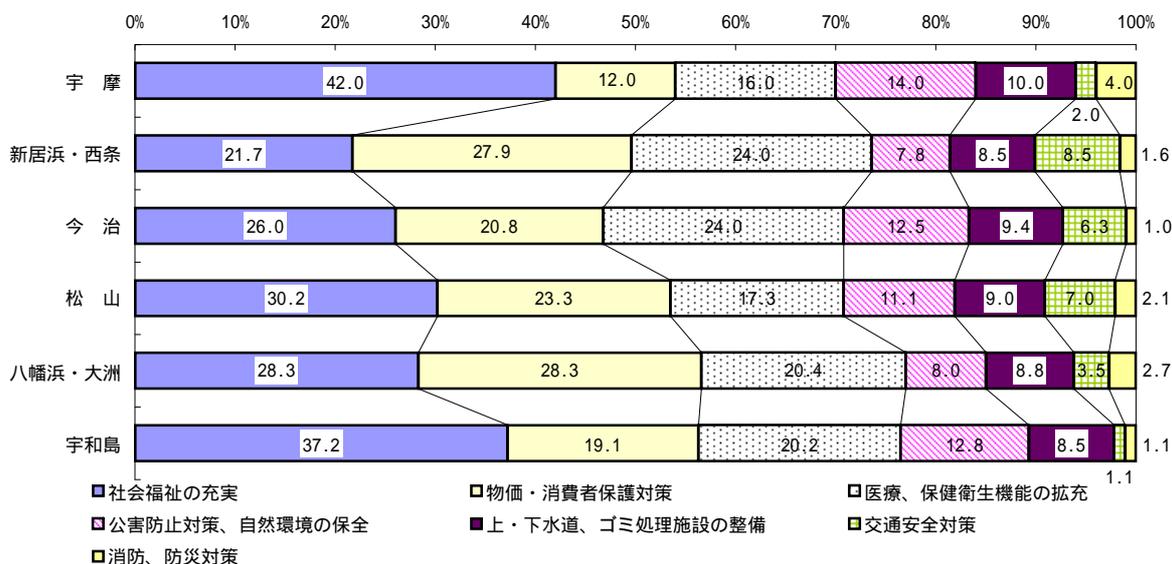
【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「物価・消費者保護対策」と答えた人の割合が最も高く、それ以外では「社会福祉の充実」が最も高くなっている。



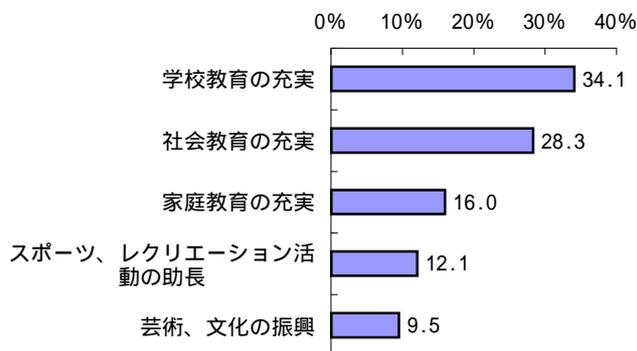
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域では「物価、消費者保護対策」と答えた人の割合が、宇摩、今治、松山、宇和島圏域では「社会福祉の充実」が最も高く、八幡浜・大洲圏域ではこの2つの項目が同率となっている。



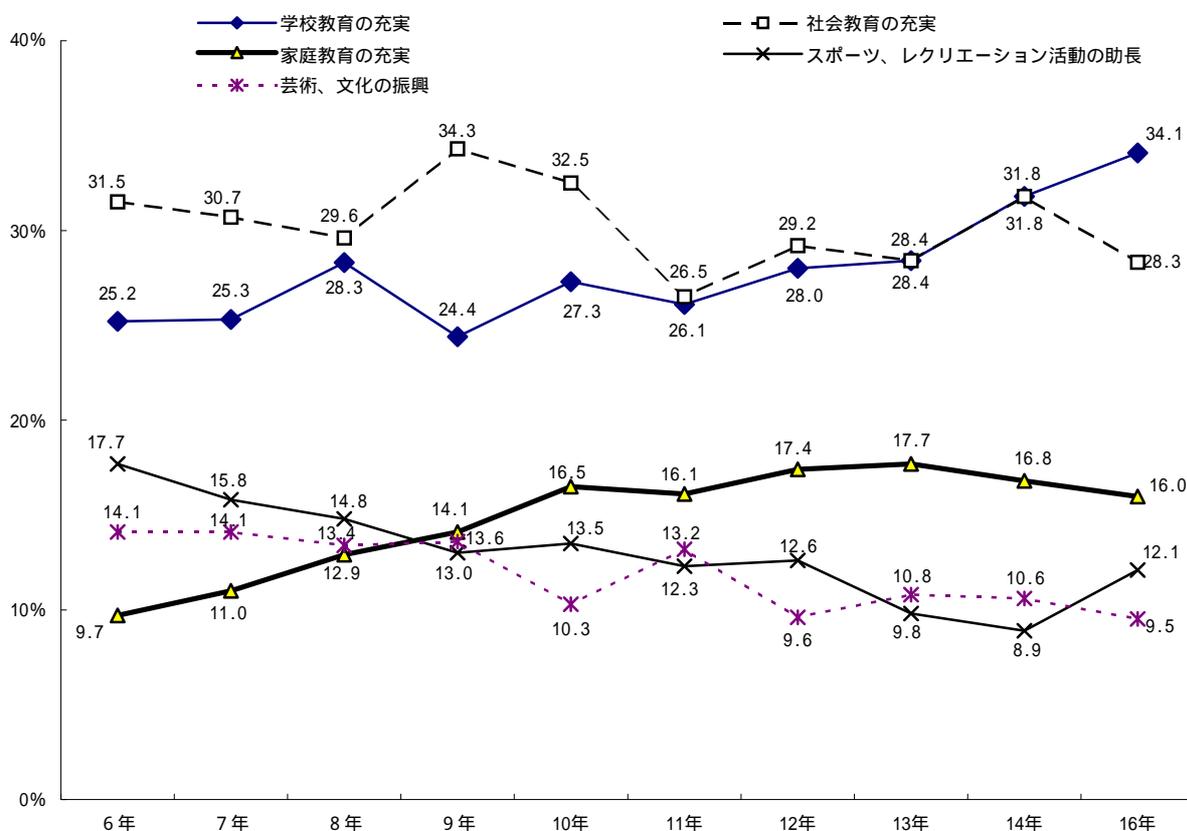
【教育面】

教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が34.1%と最も高く、以下「社会教育の充実」（28.3%）、「家庭教育の充実」（16.0%）、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」（12.1%）、「芸術、文化の振興」（9.5%）の順となっている。



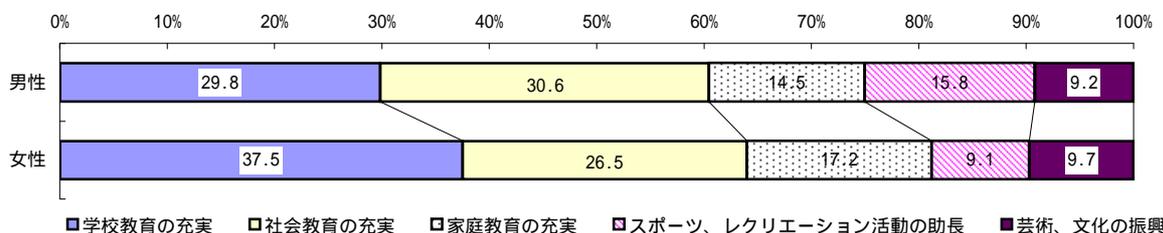
【経年変化】

経年変化をみると、「学校教育の充実」は前回調査に比べて2.3ポイント、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」は3.2ポイント増加し、一方、「社会教育の充実」は3.5ポイント、「家庭教育の充実」は0.8ポイント、「芸術、文化の振興」は1.1ポイント減少している。
「学校教育の充実」と答えた人の割合が初めて「社会教育の充実」を超えている。



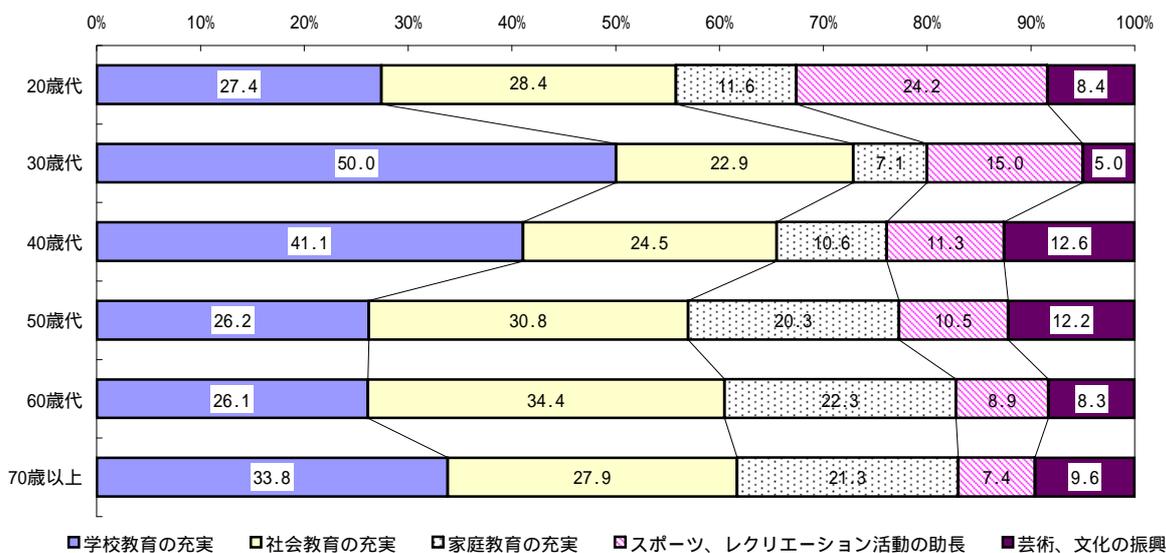
【性別】

性別にみると、「社会教育の充実」、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合は男性の方が高く、「学校教育の充実」、「家庭教育の充実」は、女性の方が高い。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代、40歳代、70歳以上では「学校教育の充実」が、20歳代、50歳代、60歳代では「社会教育の充実」と答えた人の割合が最も高い。
 また、「スポーツレクリエーション活動の助長」と答えた人の割合は年齢層が低いほど高く、20歳代で24.2%と最も高くなっており、「家庭教育の充実」と答えた人の割合は、50歳代以上で高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域では「社会教育の充実」、宇摩、松山、八幡浜・大洲、宇和島圏域では「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も高く、今治圏域ではこの2項目が同率となっている。
 また、宇和島圏域では「家庭教育の充実」と答えた人の割合が、今治圏域では「芸術、文化の振興」が、他の圏域と比較して高くなっている。

